

2019年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 開発コンサルティング企業受入ポスト一覧

登録番号	受入コンサルティング企業	募集人数	テーマ
1901-開コ01	株式会社三祐コンサルタンツ (ミャンマー)	1	バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト
1901-開コ02	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル (ミャンマー)	2	ヤンゴン環状鉄道改修事業
1901-開コ03	八千代エンジニアリング株式会社 (インドネシア)	1	インドネシア国ジャカルタ地盤沈下対策プロジェクト
1901-開コ04	株式会社アルメックVPI (フィリピン)	4	フィリピン国メトロマニラ総合交通管理計画策定プロジェクト
1901-開コ05	一般財団法人日本国際協力センター(JICE)/国立大学法人東京芸術大学 (エジプト)	2	大エジプト博物館開館支援合同修復プロジェクト
1901-開コ06	日本工営株式会社 (インド)	1	ヒマーチャルプラデシュ州作物多様化推進プロジェクトフェーズ2
1901-開コ07	日本工営株式会社 (ミャンマー)	2	バゴー橋建設プロジェクト
1901-開コ08	日本工営株式会社 (インドネシア)	2	アサハンNo.3水力発電所建設工事施工監理
1901-開コ09	日本工営株式会社 (ベトナム)	1	北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト
1901-開コ10	日本工営株式会社 (パナマ共和国)	1	Special Assistance for Project Implementation Panama Metropolitan Area Urban Transportation Line 3
1901-開コ11	株式会社日本開発サービス (エチオピア)	1	エチオピア国品質・生産性向上、競争力のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト (第二次契約)

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ01
■企業名：	株式会社三祐コンサルタンツ	<b>募集人数（人）</b>	1
■実施国：	ミャンマー		
■プロジェクトサイト：	バゴー地域西部（ピィ郡、タヤワディ郡）		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>ミャンマー国農業セクターは、高い開発ポテンシャルを持っているものの、低い灌漑率、低い生産性によりそのポテンシャルが活かされていない。こうした課題に対処するため、JICAは円借款「バゴー地域西部灌漑開発事業」（2014年9月借款契約調印）を実施中である。標記業務の対象地域は、当該灌漑事業地区と同じバゴー地域西部の4灌漑地区（8万7千ha）であり、当該円借款事業の効果促進を目指すものである。</p> <p>本プロジェクトは、バゴー地域西部において、公的機関 - 民間企業 - 生産者（農家）間の連携強化、モデル地区農家の収益性の向上、参加型水管理にかかる指針整備・運用促進を行うことにより、灌漑事業による民間企業の活動を巻き込んだ収益性の高い農業モデルの確立を図り、もって、事業対象地域における農業収益性の向上に寄与するものである。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開発協力の概要やプロジェクトの運営について学ぶ</li> <li>2. 現地にて各種研修の開催支援</li> <li>3. 現地にて必要に応じた各セクター（コメ種子生産、農業技術普及、水管理組合支援）の作業補助</li> <li>4. プロジェクト関係者とのコミュニケーションスキルを養う</li> </ol>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年8月 から 2020年3月までの 1ヶ月間程度			
調整可                      理由：2019年8月 から 2019年9月までの 1か月間が望ましい			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）： 現地で利用するプリンター			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
3,500円/日		4,400円/日	
<b>■査証必要の有無</b>			
無		特記事項： (取得期間 金額等)	
<b>■備考・留意点</b>			
・インターンシップ期間中、現地での宿泊先から事務所への移動はチームメンバーの車両に同乗可能。但し、赴任・離任時の移動についてはインターンの実費負担。			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ02
■企業名：	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル	<b>募集人数（人）</b>	2
■実施国：	ミャンマー		
■プロジェクトサイト：	ヤンゴン環状鉄道改修事業施工管理（インセン）		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
ヤンゴン環状鉄道改修事業		有償資金協力	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>ミャンマーのヤンゴン市は、人口約510万人を抱える同国最大の商業都市である。同市内には総延長約46キロメートルの区間に38の駅を持つヤンゴン環状鉄道があり、一日当たり122本の列車が運行されているが、施設や機材、車両の老朽化が進み、列車走行速度の低下や遅延、脱線事故などが頻発している。</p> <p>この協力では、同環状線44キロメートル区間（ヤンゴン中央駅部分を除く）の信号システムの更新と新規車両の整備を支援する予定である。これにより、効率的な旅客輸送能力の増強と安全で快適な公共交通サービスの向上を図り、ヤンゴン都市圏の社会経済活動の活性化に寄与する予定である。</p> <p>プロジェクトは円借款で行う信号工事と66両の新車両の購入に加え、ミャンマー国鉄（MR:Myanma Railways）の独自予算で実施する線路整備、ホームの整備、排水溝の整備などで構成されている。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>軌道工事、排水工事、ホーム改修工事、信号設置工事などをヤンゴン環状鉄道改修事業では実施しているが、土木業者、信号業者の施工する各種工事のインスペクションをインスペクターと共に検収（測定）することで、現場における工事の進捗状況の確認を行う。</li> <li>毎週定期的にインスペクションを実施し、工事進捗状況を管理する。</li> <li>毎週金曜日の週定例会議、並びに月末の月例会議などに参加し、工事業者との会議において進捗状況を確認し、必要な場合には事業の改善について、関係者で検討する。</li> <li>上記の実施状況に関して、月例の報告書に取りまとめるものとする。</li> <li>ミャンマー国鉄、施工業者およびコンサルタント間の様々な確認レターの発信、受信に関して、取りまとめの支援を行う。</li> <li>業務の実施において、必要なデータの取りまとめを行う。</li> </ol>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
JICA H.P.において、ヤンゴン環状鉄道改修事業を参照のこと。			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
ミャンマー国鉄本社（ネピドー）でのプログレスミーティングに、同行することを予定する。なおその際には議事録の作成を求める予定。			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年 8月上旬以降 から 2020年3月までの1-3ヶ月程度			
調整可 理由：雨期は6~9月で、乾期（10~3月）の方が工事進捗は良いので、乾期を推奨する。			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 その他（提供可能な事項）： ホテルと事務所との通勤は車を手配可能			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
3,000円/日		5,000円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
無		特記事項： （取得期間 金額等）	
<b>■備考・留意点</b>			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ03	
■企業名：	八千代エンジニアリング株式会社	<b>募集人数（人）</b>	1	
■実施国：	インドネシア			
■プロジェクトサイト：	ジャカルタ市内			
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>		
インドネシア国ジャカルタ地盤沈下対策プロジェクト		開発計画調査型技術支援		
<b>■プロジェクト概要</b>				
<p>インドネシア国ジャカルタでは、地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下が顕著であり、洪水、高潮などの水系リスクを助長し、洪水被害を増大させ、併せて物流の停滞等の社会経済への影響も大きくなっている。これに対し地盤沈下に関する国等の組織体制が未整備であり、地下水揚水規制の前提となる代替水源が確保されていないのが現状である。</p> <p>本プロジェクトは、ジャカルタ特別州において、地盤沈下の諸原因に関する調査を行い、地盤沈下対策を推進するためのアクションプランを策定し、その過程でインドネシア側の人材育成を行うことを目的とする。</p>				
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤沈下に係る既存データ収集整理</li> <li>・現地視察</li> <li>・地下水解析に係る再委託（AMT探査、観測井掘削）作業施工管理、社会調査への同行</li> <li>・Working Group Meetingへの参加及びファシリテーターに対するアシスタント</li> </ul>				
<b>■プロジェクトの参考情報</b>				
<a href="https://www.jica.go.jp/press/2017/20170727_03.html">https://www.jica.go.jp/press/2017/20170727_03.html</a>				
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>				
ワーキンググループ会議、現地視察、再委託現場視察				
<b>■受入時期・期間</b>				
2019年10月 から 11月までの 1ヶ月間程度				
調整可                      理由：団員のアサイメントスケジュールによる。				
<b>■希望する人材</b>				
大学生・大学院生・社会人全て可				
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>				
望ましい	河川、地下水、水資源、防災のいずれかの専門性を有する			
<b>■提供可能な執務環境等</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備	<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担			
その他（提供可能な事項）：				
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>			<b>■宿泊費</b>	
4,000円/日			6,000円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>				
有	特記事項： （取得期間 金額等）	滞在期間60日以内の場合、本邦にて「シングル/211Aタイプ」を取得、60日以上の場合は「シングル/211Aタイプ」に加え、現地にて延長手続きを行う必要あり。査証取得金額は5,700円。		
<b>■備考・留意点</b>				

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ04
■企業名：	株式会社アルメックVPI	<b>募集人数（人）</b>	4
■実施国：	フィリピン		
■プロジェクトサイト：	マニラ首都圏		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
フィリピン国メトロマニラ総合交通管理計画策定プロジェクト		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>本プロジェクトは、マニラ首都圏開発庁(MMDA)をカウンターパート(C/P)機関とし、マニラ首都圏の道路セクターにおける包括的な交通管理計画を作成することにより、交通需要の調整及び交通容量の増大を企図した施策を実施し、同地域の可動性、接続性、交通環境、安全性の改善に寄与します。同時に、マニラ首都圏において、定量的かつ科学的なデータに基づいた交通混雑箇所の特定制及び要因の分解を行い、これら交通混雑箇所に対して人材育成計画を含む道路セクターにおける包括的な交通管理計画を策定すると共に、当該計画をC/Pが継続的に実行・評価・改善する体制を整えることを目的として実施するものです。</p> <p>本プロジェクトは2019年3月上旬に開始し、実施期間は3年間となります。1年目の主な業務内容は、「マニラ首都圏における渋滞の定義と抽出」、「交通渋滞諸元のデータの収集」、「データベースの構築」、「交通ボトルネックの分析」、「道路交通混雑緩和を目的としたMMDAの5か年行動計画の策定」などです。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>業務調整の補佐としての活動が主な内容で、具体的には下記などがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報収集・整理</li> <li>・交通データの分析</li> <li>・現地調査同行・記録</li> <li>・会議資料の作成と会議への同行・議事録作成</li> <li>・ワークショップ実施支援</li> <li>・議事録作成</li> <li>・報告書作成支援</li> <li>・本邦研修プログラムの準備</li> </ul> <p>また、短期間で一連のコンサルタント業務を経験することはできないため、インターン期間に応じ、疑似体験として各自で設定するテーマに沿った個人プロジェクトを実施してもらいます。</p>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
会議、ワークショップ、セミナー、現地視察			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年8月 から 2020年3月までの 1-2ヶ月間程度			
調整可		理由：	
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
望ましい	日常会話ができる程度の英語力		
必須	Microsoft Word/Excel/Power Pointの利用(ベーシック機能のみでok)		
望ましい	異なる環境への適応能力		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他(提供可能な事項)：			
<b>■滞在費(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,000 - 2,000円/日		4,000 - 10,000円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： (取得期間 金額等)	滞在期間30日以上の際に査証取得となり、申請時より6ヵ月+滞在予定日数の旅券の残存ページが必要のため、留意すること。 査証取得金額は無料。	
<b>■備考・留意点</b>			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ05
■企業名：	一般財団法人日本国際協力センター(JICE)/国立大学法人東京芸術大学	<b>募集人数(人)</b>	2
■実施国：	エジプト		
■プロジェクトサイト：	ギザ エジプト大博物館保存修復センター		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
大エジプト博物館開館支援合同修復プロジェクト		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>大エジプト博物館保存修復センター内に設置されているプロジェクトオフィスでの日本人業務従事者の業務補助（プロジェクト・マネジメント、業務調整、資機材調達等多岐にわたる）および日本より短期で派遣される日本人専門家とカウンターパートのエジプト人専門家による合同での保存修復作業の活動記録、報告書作成の補助等を中心とする。活動場所は、大エジプト博物館（Grand Egyptian Museum 以下、GEM）以外に、必要な場合にはカイロ・エジプト考古学博物館での活動も含まれる。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>エジプト政府は、GEMの付属施設として保存修復センター（Conservation Center：以下、「GEM-CC」という。）をエジプト側予算で建設し、GEMに展示される文化財の保存修復を行っている。JICAはGEM-CCに対して「大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」を実施し、2008年6月からGEM-CCの計画・設計・運営や収蔵品のデータベース構築等に関する協力（第1フェーズ）、2011年7月から2016年3月まで本格協力フェーズに移行し、文化財の保存・修復にかかる多数の研修（第2フェーズ）を行ってきた。現行フェーズでは、ツタンカーメン王の遺物を含む72点の木製品、染織品、壁画・石材からなる対象遺物の実物を取り扱い、2019年11月までの3年間の予定で、エジプト、日本双方の学際的な専門家が協同して保存修復作業にあたっている。</p>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<a href="http://www.jicagem.com/about_us/?lang=ja">http://www.jicagem.com/about_us/?lang=ja</a> <a href="https://www.facebook.com/GEM.JC.Project/posts/859321820906646">https://www.facebook.com/GEM.JC.Project/posts/859321820906646</a>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年9月から10月 までの 1ヶ月間程度			
調整不可 理由：現時点でプロジェクト期間が2019年11月までとなっているため			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
望ましい	考古学、文化財学、博物館学に関する知識		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等
その他（提供可能な事項）：			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,500円/日		2,500円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： （取得期間 金額等）	オンラインビザ（2019年3月時点USD25）	
<b>■備考・留意点</b>			
JICAエジプト事務所での安全ブリーフィング終了後の移動は、プロジェクトカーにて移動可能			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ06
■企業名：	日本工営株式会社	<b>募集人数（人）</b>	1
■実施国：	インド		
■プロジェクトサイト：	ヒマーチャルプラデシュ州ハミルプール県他4県		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
ヒマーチャルプラデシュ州作物多様化推進プロジェクトフェーズ2		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
本プロジェクトでは、ヒマーチャルプラデシュ州において作物多様化推進のための農業普及員の能力開発、有望なパイロット活動の発掘・実施、マーケティング支援、持続的な農業生産計画・マーケティング計画の策定を通じて、ヒマーチャルプラデシュ州政府農業局（DOA）の組織的な能力向上を図る。さらに、ヒマーチャルプラデシュ州対象地域5県における、気候条件（農業生態的条件）に基づく作物多様化推進を通じた農家の農業所得向上・安定に寄与することを目指す。プロジェクト期間は、2017年2月から2022年2月までの5年間。			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 必要に応じた各セクター（普及、野菜栽培、水管理、流通、ジェンダー等）の作業補助</li> <li>- 各種報告書作成支援</li> <li>- エクセル、ワード、パワーポイント等による資料作成</li> </ul>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
対象地域5県への視察、県コーディネーター会議、各セクターの現場作業等			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年 10月 から 2020年 3月 までの間で 1ヶ月間程度			
調整可 理由：2019年8月から新規契約となることから、現時点での受け入れ可能時期の絞り込みは出来ません。			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
必須	専攻分野：農業分野、例えば蔬菜園芸又は食用作物、農業経済、農産加工等		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）： _____			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,000 円/日		4,000 円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： (取得期間 金額等)	インド渡航歴がある場合、直近で使用した旧査証のコピー（A4サイズ）が必要となる。旧旅券に旧査証がある場合も提出する。旧旅券を紛失等の理由で提出できない場合、英文理由書が必要となるので留意すること。 査証取得金額は1,550円。	
<b>■備考・留意点</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■プロジェクト宿舎に空き室がある場合には、その空き室の利用可（宿泊費、食費は別途徴収）。宿舎での食事は北インド料理が基本です。宿舎では団体生活となります。</li> <li>■安全上の観点から、渡航前にJICA本部より携帯電話を貸与。渡航時に持参することを条件とする。</li> <li>■渡航時のフライト設定において深夜着便は避けること、可能な限り直行便を利用することを条件とする。</li> <li>■現地宿泊先の予約にあたっては、必ず事前のJICAインド事務所への安全性確認をすることを条件とする。</li> <li>■インターン後にJICAインド事務所への報告会を行うことを条件とする。</li> </ul>			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ07
■企業名：	日本工営株式会社	<b>募集人数（人）</b>	2
■実施国：	ミャンマー		
■プロジェクトサイト：	ヤンゴン市		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
バゴ橋建設プロジェクト		有償資金協力	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>本事業は、ヤンゴン市南側にあるティラワ港（日本の円借款で整備）とヤンゴン市内を結ぶアクセスの改善を目的とした事業。ティラワ港とヤンゴン市内の間にはバゴ川があり、既存の橋梁があるが、近年の交通需要増加に対し慢性的な渋滞を起しており、ボトルネックとなっている。そのため、渋滞緩和、アクセス改善を目的とした新設橋の建設が必要となり日本国の円借款により、バゴ橋が新設されることになった。日本工営が2016年～2017年に詳細設計、2018年～2019年に建設業者の入札補助、2019年5月ごろから建設工事の施工監理を実施する。</p> <p>バゴ橋の特徴：プロジェクトの全長は3.5km。3つのパッケージ(Package 1, 2, 3)に分かれている。</p> <p>Package 1: タンリン市（ヤンゴンの対岸側）から河川中央までの約1.3km。主な橋梁は斜張橋、鋼箱桁、PC桁。</p> <p>Package 2: 河川中央からヤンゴン側まで約1.4km。主な橋梁は鋼箱桁、PC桁。</p> <p>Package 3: ヤンゴン側の市内高架橋で約0.8km。主な橋梁は鋼箱桁、PC桁。</p> <p>プロジェクト全体の事業費は約310億円、全パッケージ共に日本の企業により建設工事が行われる。</p>			
<b>活動内容</b>			
<p>1) 円借款事業における日本国と被援助国との関係の習得</p> <p>2) 円借款実施における、被援助国、コンサルタント、ゼネコンの関係、役割。</p> <p>3) 施工監理をとおり、施工技術、安全、環境、地域住民への配慮などの習得</p>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年8月 から 2020年3月 までの 8ヶ月間程度			
調整可 理由：			
<b>■希望する人材</b>			
社会人			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
望ましい	土木系の学生、もしくはその出身者		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等
その他（提供可能な事項）：			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,500円/日		5,000円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
無	特記事項： (取得期間 金額等)		
<b>■備考・留意点</b>			



**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ08
■企業名：	日本工営株式会社	<b>募集人数（人）</b>	2
■実施国：	インドネシア		
■プロジェクトサイト：	北スマトラ州 トバサモシール県		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
アサハンNo. 3水力発電所建設工事施工監理		有償資金協力	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>本案件は、円借款によるインドネシア電力公社（PT. PLN）の水力発電所建設工事であり、北スマトラ州にアサハン第3水力発電所（流込み式、設備容量174MW 年間発生電力量1,477GWh）を建設することにより、州都メダンを含む北スマトラ系統の電力供給能力を向上させ、同系統の電力需給逼迫の緩和及び供給の安定性の改善を図るものである。</p> <p>2010年6月より施工監理のためのEngineering Serviceを開始し、準備工事（工事用道路と工事用宿舎）は一部を除いて完工した。しかし、主に建設許可の取得と用地収容の遅れから、本体工事（土木、水力機械、発電機器、送電線、予警報）の入札も中断されていたが、2018年1月に用地取得の手続きが完了し、本体工事入札を順次再開、土木工事の着工は2019年3月末を予定している。土木工事の工期は48ヶ月、2023年3月の完工予定となっている。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>本案件は、取水堰、導水路トンネル、地下発電所を含む水力発電所建設工事の土木施工監理を実施することが中心となっており、活動内容は主に設計変更への対応、施工方法のチェック、現場での工事管理、契約管理、安全管理等をEngineerの指導のもと補助する内容となる。土木工事はFIDICに基づいた契約条件のため、3者（Contractor・Employer・Engineer）方式、施工業者への指示、客先への説明など、建設工事でのコンサルタント（Engineer）の役割を理解し、活動することが求められる。</p>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<a href="https://www.jica.go.jp/press/archives/jbic/autocontents/japanese/news/2006/000045/index.html">https://www.jica.go.jp/press/archives/jbic/autocontents/japanese/news/2006/000045/index.html</a> <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000186335.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000186335.pdf</a>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
Weekly, Monthly Progress Meetingへの参加 Inalum（1970-80年代に建設されたアサハンNo. 2施設）への視察			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年9月 から 2020年3月頃までの 1-2 ヶ月間程度 調整可 理由：現場での建設工事の進捗による。			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生・社会人全て可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
望ましい	土木技術者		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）： 現場での安全用具（ヘルメット・長靴等）、設計・施工監理に必要なソフトウェア			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,000円程度/日（酒などの嗜好品は除く）		0円/泊（現場では宿舎提供）	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： (取得期間 金額等)	滞在期間60日以内の場合、本邦にて「シングル/211Aタイプ」を取得、60日以上の場合には「シングル/211Aタイプ」に加え、現地にて延長手続きを行う必要あり。査証取得金額は5,700円。	
<b>■備考・留意点</b>			
<p>現場での車輛は基本的に提供、週末の使用は車両が利用可能であれば提供します。現場事務所および宿舎は、PLNのO&amp;M要員が入る宿舎（Base Campと称している）を利用しています。共用スペースで（日本食に近い）食事の提供、洗濯付き、NHK含め国際放送の視聴可、WiFiの24時間利用可となっています。</p> <p>Base Campは標高100mのため昼間はかなり暑くなりますがエアコン完備されています。</p> <p>週末に過ごしたい近郊の都市は、マラッカ海峡側に2時間で港町のTanjung BalaiやKisaran、トバ湖側に2時間でBalige、3時間で観光地で有名なParapatやSamosir島があります。北スマトラ州の州都Medanまで車で6時間程度です。宿泊費は50\$/日程度です。</p> <p>宿舎は無料で提供されるが、食費及びインターンシップ期間中に想定される出張に係る宿泊費を鑑み、月額3万円（1,000円/日）を滞在費補助として支給する。</p>			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ09
■企業名：	日本工営株式会社	<b>募集人数（人）</b>	1
■実施国：	ベトナム		
■プロジェクトサイト：	ハノイ市近郊		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>ベトナムでは、農産物の生産拡大に伴い農薬や化学肥料の使用量が增大する一方、適正な農薬使用など安全確保が課題である。ベトナム政府は、2008年にVietGAPと呼ばれる安全作物生産に関する技術基準を策定したが、高価な認定料などが原因で一般農家への普及は進んでいない。そこでJICAは、認定料を支払えない農家でも適用可能なBasic GAPを提唱し、2014年に制度化された。今後は更なる普及、拡大に向けた行政官の能力向上が課題である。あわせて、生産面の対策だけでなく、加工、流通過程の安全・衛生での改善など消費者の信頼を得られる流通の構築、また、生産者や流通・販売業者、消費者など全ての関係者に対する安全作物の啓発も重要な課題である。本プロジェクトは、安全作物栽培の振興を図り、ベトナム北部地域の農産物の安全性と信頼性の向上に寄与することを目的に、ベトナム政府に正式承認されたBasic GAPをベトナム北部2市11省にて普及し、かつ安全作物の流通構築、啓発活動を実施する。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>1. GAPに基づく生産工程管理の指導業務：栽培履歴の記録や正しい農薬使用、衛生的な収穫後処理など、GAPに基づく一連の生産工程管理、およびその指導方法を学ぶ。          2. 栽培技術に関する業務支援：作付体系、栽培暦、栽培技術（堆肥、育苗、農業資材等）、経済性評価の方法を学ぶ。さらに、技術普及のための普及員研修および農家研修の実施方法を学ぶ。          3. 共同購入／共同出荷業務の支援：農産物の作付け計画の作成、農薬や肥料の共同購入、農産物の共同出荷・販売の仕組みとその支援方法を学ぶ。          4. マーケティング業務の支援：マッチングイベントの開催、広報用資料作成等マーケティングに関する技術を学ぶ。          5. プロジェクトの運営・管理：労務管理、報告書作成など案件管理業務を実践する。</p>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<a href="https://www.jica.go.jp/project/vietnam/041/index.html">https://www.jica.go.jp/project/vietnam/041/index.html</a> <a href="http://www.jiid.or.jp/ardec/ardec58/ard58_key_note4.html">http://www.jiid.or.jp/ardec/ardec58/ard58_key_note4.html</a>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
生産管理および集出荷を実施中のパイロット事業対象グループの視察 安全作物ビジネスフォーラムなどマーケティングイベントへの参加			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年8月 から 2020年3月 までの2カ月間程度 調整可 理由：2019年8月後半 から 10月前半 までの2ヶ月間程度が望ましい			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生ともに可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
必須	TOEIC650点以上		
望ましい	農学部もしくは農学に準ずる学部		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）： 事務所内WiFi、コピー機、文房具等の利用			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,000円/日		2,000-4,000円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： (取得期間 金額等)	Web上にてご自身で査証申請手続きを行う。なお、申請手続きは渡航の2ヶ月前までに実施すること。 <b>【金額】</b> シングル1ヶ月：5,500円 3ヶ月：7,500円 マルチプル1ヶ月：10,000円 3ヶ月：14,500円 取得種類についてはインターンシップ期間に合わせて要相談。	
<b>■備考・留意点</b>			
現地業務の際は英語-ベトナム語の通訳を帯同させます。コミュニケーション、文書作成は英語で行っていただきます。			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ10
■企業名：	日本工営株式会社	<b>募集人数（人）</b>	1
■実施国：	パナマ共和国		
■プロジェクトサイト：	パナマ3号線開発事務所		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
Special Assistance for Project Implementation Panama Metropolitan Area Urban Transportation Line 3		有償資金協力	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>パナマ3号線整備事業はパナマの中心部から開発が進む運河の西側へ延びる25kmの大量輸送機関をモノレールシステムで整備する。同事業には日本企業が車両およびシステムを納入することが決まっており、現在土木工事を中心に担う業者の入札中で2019年夏から秋に着工予定である。</p> <p>■基本設計・システム納入業者選定支援（2016年5月から2018年8月）          ■入札支援（2018年9月から2019年8月）          ■施工監理・プロジェクトマネジメント（54か月間）          ■試運転期間（半年）</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工監理における建設業者が提出する施工図のチェック</li> <li>・施工監理における施工中に発出する発注図作成補助</li> <li>・施工監理現場における品質管理体制準備補助</li> </ul>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
総事業費 約2,600億円・工事工期 2019年9月から54か月 <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_003234.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_003234.html</a>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
・既存インフラで弊社がかかわっている事業を中心に訪問			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年10月 から 3月までの 1-2ヶ月間程度			
調整可 理由：プロジェクト契約締結状況により、インターン開始時期については調整の可能性がある。			
<b>■希望する人材</b>			
大学生・大学院生ともに可			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
必須	ビジネスレベルの英語力(TOEIC700点以上)が望ましい		
望ましい	スペイン語が話せることが望ましい		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）：			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
2,500円/日		USD75+Tax/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： (取得期間 金額等)	日本国籍は180日以内の滞在の際は査証不要であるが、入国時に以下の条件が必要となる。 1. 復路航空券の所持 2. 十分な所持金（US\$500）現金又はクレジットカードの所持 3. 上記旅券の残存期間（入国時より6ヶ月以上）、旅券の残存ページが1ページ以上	
<b>■備考・留意点</b>			

**2019年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

<b>受入企業先</b>		<b>登録番号</b>	1901-開コ11
■企業名：	株式会社日本開発サービス	<b>募集人数（人）</b>	1
■実施国：	エチオピア		
■プロジェクトサイト：	アジスアベバ		
<b>■プロジェクト名</b>		<b>■スキーム名</b>	
エチオピア国品質・生産性向上、競争力のためのカイゼン実施促進能力向上プロジェクト（第二次契約）		技術協力プロジェクト	
<b>■プロジェクト概要</b>			
<p>エチオピアは、近年高いGDP成長率を維持しているが、GDPに占める製造業割合は低く、製造業の立ち遅れに加え、その品質や生産性の低さが輸出振興や国内外からの投資促進の障壁となっている。</p> <p>エチオピア政府は、日本の品質・生産性向上の理念や手法としての「カイゼン」に強い関心を持ち、JICAに支援を要請すると共に、後のエチオピア・カイゼン機構（Ethiopian Kaizen Institute: EKI）となる組織を立ち上げた。JICAは、2009年から品質・生産性向上（カイゼン）分野に関する協力を開始し、EKIを中核としたカイゼン活動を民間企業等へ持続的に普及させる仕組みを確立させるための技術協力を実施してきた。</p> <p>本プロジェクトは、エチオピアの輸出産業や輸入代替産業における品質・生産性が向上し、産業競争力の強化に貢献するため、EKIを核としたカイゼン普及体制の構築を支援し、かつEKIを通じて民間および公的セクターにおけるカイゼン活動を実践できる産業人材を育成することを目標として、2015年～2020年の5年間に亘って活動を実施している。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>《EKIコンサルタントに対する研修の運営実施補助》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カイゼン活動を実践できる産業人材を育成するため、EKIのコンサルタントに対して日本人専門家が計8ヵ月にわたるカイゼン研修を実施している。具体的には、1ヵ月の理論研修（Class Room Training: CRT）と7ヵ月のモデル企業現場における実践研修（In Company Training: ICT）から成り、CRT研修の運営設備補助や研修教材準備、ICT研修時の企業訪問への同行・現場写真撮影、ICT企業情報や研修生評価結果などのエクセル・ワード等による情報整理等をインターンシップ内容として想定する。</li> </ul> <p>《その他プロジェクト活動に関する運営実施補助》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記研修活動のほか、プロジェクトで実施している各種活動（委員会やセミナー等の開催、EKIの広報活動や地方におけるカイゼン実施機関に関する調査・助言、EKIに対する組織強化に関する活動等）に対する運営補助業務（議事録や各種資料のエクセル・ワード・PPT等による作成支援等）を想定する。</li> </ul>			
<b>■プロジェクトの参考情報</b>			
<p>JICAホームページプロジェクトサイト：  <a href="https://www.jica.go.jp/project/ethiopia/008/index.html">https://www.jica.go.jp/project/ethiopia/008/index.html</a></p>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
<p>前述のEKIコンサルタントに対するカイゼン研修での、ICT企業現場研修への同行等を想定。</p>			
<b>■受入時期・期間</b>			
<p>2019年9月 から 12月 までの 3ヶ月間程度</p> <p>調整可 理由：</p>			
<b>■希望する人材</b>			
社会人			
<b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>			
望ましい	英語での業務遂行がある程度可能であることが望ましい。		
望ましい	海外での勤務経験等があればなお可。		
<b>■提供可能な執務環境等</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担		
その他（提供可能な事項）： 執務場所までの通勤に係る車輛。			
<b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>		<b>■宿泊費</b>	
1,000-2,000 円/日		5,000-7,000 円/泊	
<b>■査証必要の有無</b>			
有	特記事項： （取得期間 金額等）	取得期間： 1週間程度 金額： 50USD	
<b>■備考・留意点</b>			